



2024年5月15日

各 位

会社名 岩崎通信機株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 彰吾
(コード：6704、東証スタンダード)
問合せ先 取締役執行役員コーポレート・マネジメント本部長
時田 英典
(TEL. 03-5370-5111)

通期業績予測値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年2月9日に公表した2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 2024年3月期通期連結業績予測値と実績値との差異（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	21,000百万円	△400百万円	△400百万円	400百万円	26.88円
実績値（B）	21,290百万円	△489百万円	△516百万円	526百万円	45.36円
増減額（B－A）	290百万円	△89百万円	△116百万円	126百万円	—
増減率（％）	1.4％	—	—	31.5％	—
（参考）前期連結実績（2023年3月期）	22,871百万円	△989百万円	△911百万円	△1,196百万円	△120.15円

2. 差異の理由

2024年3月期の通期連結業績につきましては、売上収益は情報通信事業におけるビジネスホン及び印刷システム事業における消耗品の販売を中心に前回発表予想に対し、堅調に推移したものの、利益面については、前連結会計年度に先行手配を行った部品の納入や販売を見込んでいた案件の一部に納期変更や延伸が生じたことにより棚卸資産評価損の改善が遅れ、売上原価が悪化したことで減益となりました。一方で親会社株式に帰属する当期純利益については、主に資産効率の向上を目的として政策保有株式を縮減したことで特別利益212百万円等を計上したことにより、前回予想を上回る結果となりました。

2025年3月期以降につきましては、本日公表の「構造改革実施に関するお知らせ」のとおり、グループ人員規模の適正化及びグループ再編を実施し、中期経営計画「REBORN」で掲げる「徹底した固定費削減」や「成長戦略推進」の実現に向け、事業の選択と集中を加速し、持続的な成長と企業価値向上の実現に向けて取り組んでまいります。

以 上